

【基本施策Ⅲ】 持続可能な生産基盤の確立

将来にわたって生産効率の高い営農を維持・向上するため、農業生産基盤の整備や長寿命化対策を進めるとともに、災害を未然防止・減災するための農業施設の整備・改修に取り組みます。

また、農地の有効利用を促進するとともに、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図ります。

1. 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進

指標項目	単位	現状値(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値(R7)
ため池や排水機場等の整備・改修件数(農村森林整備課)	施設	—	0	0				8 (累計)

R3年度 実績報告	R4年度 実施計画	担当課
-----------	-----------	-----

① 農業生産基盤の整備・改修

R3年度 実績報告		R4年度 実施計画		農村森林整備課																							
<p>農業水利施設保全対策事業 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点により、的確な予防保全を実施した。 ・実施地区数：9地区 ・主な施設：揚水機場・ゲート・排水機場・用水路 ・事業費：333,575千円 ・地元負担金：77,948千円</p>		<p>農業水利施設保全対策事業 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点により、的確な予防保全を実施する。 ・実施地区数：9地区 ・主な施設：揚水機場・ゲート・排水機場・用水路 ・事業費：522,435千円 ・地元負担金：112,536千円</p>																									
<p>農地防災事業 ため池・用排水施設・井堰等の改修等を行い、洪水による災害の未然防止を図った。 ・県営農地防災事業負担金：23,680千円 ・県営水利施設整備事業負担金：57,500千円</p>		<p>農地防災事業 ため池・用排水施設・井堰等の改修等を行い、洪水による災害の未然防止を図る。 ・県営農地防災事業負担金：39,302千円 ・県営水利施設整備事業負担金：40,000千円</p>																									
<p>生産基盤整備事業 国営土地改良事業の一環として、利水施設の改良、ほ場・農道・用排水路整備等を実施し、農業生産の向上を図った。 ・ほ場整備事業推進中地区 山本町耳納</p>		<p>生産基盤整備事業 国営土地改良事業の一環として、利水施設の改良、ほ場・農道・用排水路整備等を実施し、農業生産の向上を図る。 ・ほ場整備事業推進中地区 山本町耳納</p>																									
<p>農業用施設整備事業 農業振興を図る地域において、道路・用排水路を整備することで、高生産性農業の促進、農業の近代化及び農村環境の改善を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長(m)</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>6</td> <td>1,726</td> <td>23,930</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>11</td> <td>1,125</td> <td>80,390</td> </tr> </tbody> </table>		工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)	農道	6	1,726	23,930	用排水路	11	1,125	80,390	<p>農業用施設整備事業 農業振興を図る地域において、道路・用排水路を整備することで、高生産性農業の促進、農業の近代化及び農村環境の改善を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長(m)</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>17</td> <td>2,650</td> <td>53,900</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>15</td> <td>1,320</td> <td>79,700</td> </tr> </tbody> </table>		工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)	農道	17	2,650	53,900	用排水路	15	1,320	79,700
工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)																								
農道	6	1,726	23,930																								
用排水路	11	1,125	80,390																								
工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)																								
農道	17	2,650	53,900																								
用排水路	15	1,320	79,700																								

R3年度 実績報告		R4年度 実施計画		担当課
防災重点農業用ため池対策事業 防災重点農業用ため池について、「劣化状況評価」を実施した。 ・補助率：国 10/10 ・劣化状況評価業務【新規】 15箇所 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">前年度繰越事業</div> 防災重点農業用ため池の浚渫を実施した。 ・緊急浚渫推進事業債 100% ・ため池浚渫業務委託 1箇所(9月補正)	防災重点農業用ため池対策事業 防災重点農業用ため池について、「劣化状況評価」実施する。 ・補助率：国 10/10 ・劣化状況評価業務 15箇所 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">前年度繰越事業</div> 防災重点農業用ため池の浚渫を計画的に実施する。 ・緊急浚渫推進事業債 100% ・ため池浚渫業務委託 4箇所 農業用施設浸水対策事業【新規】 浸水被害の軽減を図るため、浸水対策効果が見込まれる農業用施設の整備・改修に取り組む。	農 村 森 林 整 備 課		
			農地防災事業 *9月補正予算での対応 ・県単補助 50% ・緊急浚渫推進事業債 100% クリーク等浚渫業務委託 8箇所 ・緊急自然災害防止対策事業債 100% 樋門樋管等改修業務委託 13箇所 量水標設置 13箇所	流域湛水減災対策事業【新規】 筑後川下流域の浸水被害の軽減を図るため、先行排水に資するクリークの浚渫や農業用水利施設の整備・改修等に取り組む。 ・県単補助 50% ・緊急浚渫推進事業債 100% クリーク等浚渫業務委託 7箇所 ・緊急自然災害防止対策事業債 100% 樋門樋管等改修業務委託 14箇所 クリーク護岸改修工事 6箇所 量水標設置 20箇所

2. 農地の有効利用の促進

指標項目	単位	現状値(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値(R7)
耕作放棄地の面積 (農業委員会)	ha	104	104	99				95
認定農業者等の農地利用集積率 (農政課)	%	54	57	56				60

R3年度 実績報告		R4年度 実施計画		担当課
① 荒廃農地の発生抑制と解消				
農地パトロールの実施 地区担当の推進委員、農業委員、市及び事務局職員合同で、道路からの目視や立ち入りによる調査を実施した。 ・実施期間：R3.8.19～R3.9.22	農地パトロールの実施 関係機関等と連携し、8月から9月にかけて農地パトロールを行い、現状や課題の把握を行う。	農 業 委 員 会 農 政 課		
荒廃農地再生事業費補助金事業 荒廃農地を再生し、農地として利活用する認定農業者等に支援を行った。 ・補助実績：4件、1ha、4,000千円	荒廃農地再生事業費補助金事業 荒廃農地を再生し、農地として利活用する認定農業者等の支援を行う。 ・補助率：1/2（上限1,000千円）			

<p>農地利用の最適化 国の農地台帳システムが本格稼働し、利用権設定など担い手への集約化のための有効活用を図った。 耕作放棄地解消に向けた現状と解消方法については、11月に関係機関による協議会を開催し、情報の共有化を図った。</p>	<p>農地利用の最適化 システムを活用し、担い手への農地の集約化を推進することで耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、農地利用最適化協議会において、関連機関で情報の共有化を図り、耕作放棄地の解消に努める。</p>	農業委員会
---	--	-------

②農地の集積・集約化

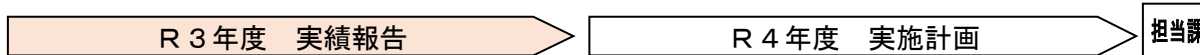
<p>農地中間管理事業 農地賃借の受け皿である「農地中間管理機構」を活用し、担い手への農地の集積・集約化を支援した。</p> <p>●経営転換協力金 経営転換やリタイアする農家、農地の相続人などが機構に農地を貸し付ける場合に、貸付面積に応じて協力金を交付した。 ・補助実績：7人、285a、428千円</p> <p>●地域集積協力金 ・実績なし</p> <p>●農地貸付協力金 ・新たに担い手に貸付ける農地の合計面積が1ha以上の農地を含む地域に交付した。 ・補助実績：1件、210a、105千円</p> <p>●規模拡大支援金 集落営農法人等が機構を通じて、非担い手から農地を借り受ける場合、借地面積に応じて交付した。 ・補助実績：7団体、562a、843千円</p>	<p>農地中間管理事業 農地賃借の受け皿である「農地中間管理機構」を活用し、担い手への農地の集積・集約化を推進する。</p> <p>●経営転換協力金（国事業） リタイアや部門減少する農家の機構への貸付面積に応じて交付する。 ・補助額：1.5万円/10a(上限50万/戸)</p> <p>●地域集積協力金（国事業） 地域の農地面積に占める機構への貸付割合に応じて交付する。 ・補助額：1.0～3.4万円/10a</p>	農政課・生産流通課
--	--	-----------

③優良農地の確保

<p>農用地利用計画の一部変更 農振法の規定等に基づき、適切に整備計画の変更を行った。 ・R3年度除外8件 2,856㎡ ・R3年度編入1件 4,085㎡</p>	<p>農用地利用計画の一部変更 農振法の規定等に基づき、農地の確保を図りながら、適切な整備計画の管理と、申し出に対する一部変更を行う。</p>	農政課
---	---	-----

3. 農業・農村の多面的機能の発揮

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農業・農村の持つ多面的機能の維持に取り組む活動農地面積の割合 (農村森林整備課)	%	70	68	70				75



① 多面的機能の維持・発揮

<p>多面的機能支払事業交付金</p> <p>農業・農村の持つ多面的機能の維持発揮に取り組む活動組織（101 団体）への支援を通じ、農道・用排水路等の地域資源の良好な保安全管理・防災減災機能の保持に努めるとともに、田んぼダム取組推進への働きかけを行った。</p> <p>・補助実績：289,015 千円(対象 101 組織) (国 144,507 千円、県 72,254 千円、市 72,254 千円)</p>	<p>多面的機能支払事業交付金</p> <p>農業・農村の持つ多面的機能の維持発揮に取り組む活動組織（101 団体）への支援を通じ、農道・用排水路等の地域資源の良好な保安全管理・防災減災機能の保持に努めるとともに、田んぼダム取組推進への働きかけを行う。</p> <p>・補助率：国 1/2、県 1/4、市 1/4</p>	農村森林整備課
<p>中山間地域等直接支払交付金</p> <p>令和 2 年度から第 5 期 (R2~R6) 対策がスタートし、促進計画の変更や各集落の協定締結を実施した。</p> <p>また、協定に基づいて実施された地域の農業生産活動に対して支援を行った。</p> <p>・補助実績：6 集落 (359 戸)、約 132ha 10,571 千円 (国 5,285 千円、県 2,643 千円、市 2,643 千円)</p>	<p>中山間地域等直接支払交付金</p> <p>耕作条件が不利な中山間地域の多面的機能の維持・保全に取り組む水縄集落の活動を支援する。</p> <p>・補助率 (額)：8 千円/10a (国 1/2、県 1/4、市 1/4)</p> <p>・集落協定：6 集落 (森部、石垣、大井、二田、益永、麦生)</p>	農政課・田主丸産業振興課

【R4年度施策の方向性】

【基本施策Ⅲ】 持続可能な生産基盤の確立（農政課・生産流通課・農村森林整備課・農業委員会）

《農業生産基盤等の整備》

農業に対する先行きの不安感や事業費の地元負担などの理由から、ほ場整備事業に対する関心は低い状況にあるが、生産効率の高い農業構造の実現を図るため、ほ場の区画整理、大区画化・農道や用排水路の整備を行ってきた。今後も、関係者の理解促進を図りながら事業推進に取り組んでいく。

また、土地改良事業完了後の経年劣化による農業水利施設の機能・効用低下を未然に防ぐため、県や土地改良区等施設管理者と連携しながら長寿命化対策や防災減災機能の保持等に取り組むとともに、クリークの浚渫や防災重点農業用ため池・用排水施設・井堰等の改修を進めることにより、洪水等による浸水・湛水災害の未然防止を図っていく。

《農地の有効活用》

農地の有効利用を促進するため、農業委員会による「農地パトロール（利用状況調査）」や市による「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」により、荒廃農地の状況把握に努め、農地としての活用がなされていない所有者には「利用意向調査」を行っている。また、自ら耕作できない所有者には、担い手への農地をあっせんするとともに、荒廃農地を借り受けて農地の再生に取り組む農業者等には、農地の整備や土壌改良にかかる経費を支援している。

今後も、効率的で安定的な農業経営を推進するため、農業委員会と連携しながら、農地中間管理事業の活用など、認定農業者等の基幹的な担い手への農地集積を推進していく。

《多面的機能の維持・発揮》

農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するため、国の多面的機能直接支払交付金や中山間地域等直接支払い交付金を活用し、農業者だけでなく地域ぐるみの協働活動の拡大に向けた取組を支援するとともに、農道等の安全対策を講じて安心・安全な農村環境づくりに取り組んでいく。

【基本施策Ⅳ】 「農業都市・久留米」の理解促進

「農業都市・久留米」の認知度やブランド力の向上を図るため、農業以外の様々な分野や関連団体・関連産業と連携し、久留米市の農業や農産物、農村の魅力を発信します。

また、農業の公益的機能や地産地消の推進等を通じて、市民に愛される「農業都市・久留米」を目指します。

1. 「農業都市・久留米」の魅力発信によるブランド力向上

指標項目	単位	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
福岡都市圏での農業都市久留米の認知度(農業の魅力促進課)	%	18.8	-	-				50

R3年度 実績報告	R4年度 実施計画	担当課
-----------	-----------	-----

①久留米産農産物の効果的な情報発信

R3年度 実績報告	R4年度 実施計画	担当課
<p>安全・安心な久留米産農産物の魅力発信事業 久留米産農産物の安全・安心、魅力をPRする動画を製作し、福岡都市圏での大型ビジョンや市公式YouTubeなどの広報ツールを活用し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放映場所及び期間 ソリアビジョン(4基)：R4.2.1～R4.2.28 西鉄福岡駅構内：R4.2.9～R4.2.15 市公式YouTube 公開開始日：R4.2.1 	<p>安全・安心な久留米産農産物の魅力発信事業 久留米産農産物の安全・安心、魅力をPRする動画をイベントや久留米市農産物販売力強化推進協議会がスーパー等に設置しているモニターでの放映し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図る。</p>	農業の魅力促進課
<p>大都市圏の市場関係者等に向けたPRイベント 新型コロナウイルス感染症の影響のため、福岡市場では、市場関係者への表敬及び農産物展示、大阪市場では市長・組合長によるビデオメッセージ放映及び農産物とPR資材展示を行い、市場関係者への認知度向上を図った。</p> <p>【福岡市中央卸売市場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場挨拶：R3.10.19 農産物展示：R3.10.18～R3.10.19 <p>【大阪市中央卸売市場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオメッセージ放映及び農産物と資材展示：R3.12.7 <p>(事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	<p>大都市圏の市場関係者等に向けたPRイベント 大都市圏の市場関係者等を対象にPRを行うことで、久留米産農産物の認知度向上や取扱量の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月(予定) 福岡市中央卸売市場 11月(予定) 大阪市中央卸売市場 <p>(事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	
<p>消費者に向けた久留米の農業・農産物PR 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中止。</p> <p>(事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	<p>【新規】青果市場等への視察 大阪以西の青果市場または小売店などへ視察を行い、今後の事業の検討を行う。</p>	
<p>消費者に向けた久留米の農業・農産物PR 大都市圏で久留米の農業・農産物についてマルシェ等を開催し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図るとともに、農業都市ブランド力の強化を図る。</p> <p>(事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	<p>消費者に向けた久留米の農業・農産物PR 大都市圏で久留米の農業・農産物についてマルシェ等を開催し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図るとともに、農業都市ブランド力の強化を図る。</p> <p>(事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>	

<p><u>道の駅くるめ大型屋根落成記念「久留米の食と農」魅力発信フェア</u></p> <p>「道の駅くるめ」の大型屋根の完成記念イベントとして、関係団体や任意団体等と連携し、久留米の魅力発信フェアを開催することにより、農業・農産物等のPRを行った。</p> <p>・実施日：R3.11.20 11時頃～11.21 16時 (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p>		
---	--	--

③「道の駅くるめ」における情報の受発信

<p><u>「道の駅くるめ」の情報発信力向上</u></p> <p>道の駅くるめへの誘客を促進し、販売力や情報発信力を強化するため、大型屋根の整備を行い、「久留米の食と農」魅力発信フェアや指定管理者が各種イベントや農産物販売会を開催した。</p>	<p><u>「道の駅くるめ」の情報発信力向上</u></p> <p>イベント広場の大型屋根を活用し、道の駅くるめの販売力及び情報発信を強化するとともに、「農業都市・久留米」の魅力を発信する。</p>	農業の魅力促進課
---	---	----------

④緑花木のブランド力向上と需要の喚起

<p><u>緑花木の情報発信</u></p> <p>新型コロナウイルスの影響により、つつじフェアやつばきフェア等のイベントは開催できなかったが、チラシや市HP、公式ライン等SNS、さまざまな媒体を活用し、魅力発信を行った。</p> <p><u>久留米つつじのPR</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●市庁舎ロビーに久留米つつじを展示・PRを行った。 ・展示期間：R3.4.6～16 ●地元関連企業や姉妹都市、ふるさと大使等へアザレアを進呈し、PRを行った。(50箇所 55鉢) ●市内小学校で久留米つつじの歴史等を学習するとともに、植栽を行うための苗の提供と植え付け指導を実施し、市民への久留米つつじの宣伝・普及及び愛着の醸成と認知度向上を図った。 ・実施校：4校 ●道の駅くるめで開催された、「久留米の食と農」魅力発信フェアで、アンケート回答者へ久留米アザレアを配布し、PRを行った。 <p>開催日：R3.11.20,21 配布数：150鉢</p>	<p><u>緑花木の情報発信</u></p> <p>つつじまつりやつばきフェア等の開催を支援し、「久留米つつじ」や「久留米つばき」等の魅力発信を図る。</p> <p><u>久留米つつじのPR</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●市庁舎や JR 久留米駅等に久留米つつじを展示し、PRを行う。 ●大都市圏の地元関連企業等へアザレアを進呈し、PRを図る。 ●市内小学校で久留米つつじの歴史等を学習するにあわせて、植栽を行うための苗の提供と植え付け指導を実施し、市民への久留米つつじの宣伝・普及及び愛着の醸成と認知度向上を図る。 	農業の魅力促進課
---	--	----------

2. 地産地消を通じた魅力発信

指標項目	単位	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
地産地消を意識している市民の割合 (農業の魅力促進課)	%	52.7	—	54.0				65

R3年度 実績報告	R4年度 実施計画	担当課
-----------	-----------	-----

①久留米産農産物を購入・消費できる環境整備

<p>久留米産農産物の表示強化</p> <p>●キラリ久留米ロゴマーク導入支援 キラリ久留米ロゴマークを活用した包装資材版代、シール作成等に対して支援を行った。 ・補助実績：2団体、863千円</p> <p>●スーパーや小売店での表示強化 市内のスーパーやJAと連携し、久留米産農産物のコーナーにのぼりやパネルなどを設置することで久留米産農産物を購入しやすい環境を整備した。 ・支援実績：1店舗（食品スーパー） (R3年度末時点 9店舗設置済) (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p> <p>地産地消推進店の拡充とPR</p> <p>●地産地消推進店のPR 地産地消推進店のPRチラシ(130,000部)を作成し市広報誌に折り込むとともに、市のHP等で広くPRした。</p>	<p>久留米産農産物の表示強化</p> <p>●キラリ久留米ロゴマーク導入支援 キラリ久留米ロゴマークを活用した包装資材版代、シール作成等に対して支援を行う。</p> <p>●スーパーや小売店での表示強化 市内のスーパーやJAと連携し、久留米産農産物のコーナーにのぼりやパネルなどを設置することで久留米産農産物を購入しやすい環境を整備する。 (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)</p> <p>地産地消推進店の拡充とPR</p> <p>●地産地消推進店のPR 地産地消推進店のPRチラシを作成し、市広報誌に折り込むとともに、市のHPや農業まつり等のイベントにおいて広くPRする。</p> <p>●地産地消推進店の情報 地産地消推進店に対して「地産地消通信」を発行(2回/年)し、イベントへの参加案内等の情報提供を行う。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
--	---	-----------------

②久留米産農産物の消費拡大と理解促進

<p>学校給食への導入支援 久留米産農産物の消費拡大を図ることを目的にJAくるめ青年部が取り組んでいる学校給食導入のためのジャガイモ栽培を関係機関と連携し推進した。 ・納入実績：10.2t (R3.6.7~R3.7.19)</p> <p>久留米産農産物学校配布事業 小学生に旬の久留米産農産物(藤山なし)を配布し、食べてもらう機会を増やすことで、地産地消を通じた久留米市の農業・農産物や農業の多面的機能の情報発信を行った。 ・配付人数：2,785人 ・配付期間：R3.9.1~R3.9.8</p>	<p>学校給食への導入支援 久留米産農産物の消費拡大を図ることを目的にJAくるめ青年部が取り組んでいる学校給食導入のためのジャガイモ栽培を関係機関と連携し推進する。</p> <p>久留米産農産物学校配布事業 小学生に旬の久留米産農産物を配布することで、旬の農産物を知って食べてもらい、地産地消を通じた久留米市の農業・農産物や農業が有する多面的機能の情報発信を行う。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
--	--	-----------------

<p>消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ●農産物マルシェの開催 市内量販店で久留米産農産物マルシェを開催し、市民の久留米の農業・農産物への理解促進とともに、市内での消費拡大を図った。 ・開催日：R4.3.17～3.21 ・開催場所：ゆめタウン久留米 ●久留米産農産物 PR 動画放映 JA 直売所やインショップに設置した電子ポップモニターで「くるめさん、ぐるめさん」を放映し、久留米産農産物の PR を図った。 ・実績：17 店舗 (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会) <p>久留米産農産物の紹介及び料理動画・リーフレット製作</p> <p>久留米産農産物を紹介した料理動画やリーフレットを作成し、市公式 YouTube への公開や公共施設で配布することで、久留米産農産物の旬や食べ方について普及させ、地産地消を推進した。</p> <p>【地産地消動画及びリーフレット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1弾：サラダ菜 ・第2弾：にら ・第3弾：ほうれん草 ・第4弾：アスパラガス及びいちご 	<p>消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ●農産物マルシェの開催 市内量販店で久留米産農産物マルシェを開催し、市民の久留米の農業・農産物への理解促進とともに、市内での消費拡大を図る。 ●久留米産農産物 PR 動画放映 JA 直売所やインショップに設置した電子ポップモニターで「くるめさん、ぐるめさん」を放映し、久留米産農産物の PR を図る。 (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会) <p>久留米産農産物の料理講習会</p> <p>久留米産農産物を使った料理講習会を開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消の意識向上を図る。</p>	農業の魅力促進課
---	--	----------

③久留米市食育推進プランの推進

<p>くるめ食育パネル展の開催</p> <p>市内4カ所で、食育推進会議4部会と信愛短期大学が食育に関する活動パネルやクイズ、各種パンフレット等を展示し、市民へ食育に関する情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示場所及び期間 ゆめタウン久留米店：R3.11.15～11.23 JR久留米駅東西自由通路：R3.11.24～12.9 三潯生涯学習センター：R4.1.21～2.3 田主丸複合文化施設：R4.2.4～2.20 (事業主体：久留米市食育推進会議) 	<p>食育啓発展示の開催</p> <p>各種イベントや公共施設等で、パネル展示等を通じて「食」と「農」及び食育の理解促進を図る。</p>	農業の魅力促進課
<p>食育通信の発行</p> <p>毎月19日に、市公式ラインを活用して、内容をリニューアルした食育通信を発行し、久留米産農産物の販売情報やイベント告知など「食」と「農」の情報発信を行った。</p>	<p>食育通信の発行</p> <p>毎月19日に、市公式ラインを活用して各基本施策の取組を記載した食育通信を発行し、久留米産農産物の販売情報やイベント告知など「食」と「農」の情報発信を行う。</p>	農業の魅力促進課
<p>第4次食育推進プランの策定</p> <p>食育推進会議を中心として、協議を重ね、第4次食育推進プランを策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育推進会議：4回開催 (R3.7.1、8.25、12.21、R4.3.23) 		農業の魅力促進課

④中央卸売市場における集出荷機能の強化

<p>生産者・市場関係者との意見交換 卸売業者と仲卸業者、生産者（農協等）の関係者で構成する意見交換会を開催し、集出荷機能強化の方策、消費者ニーズに合わせた集荷や販売方法等の検討を行った。（7月・10月）</p>	<p>生産者・市場関係者との意見交換 卸売業者と仲卸業者、生産者（農協等）の関係者で構成する意見交換会を開催し、集出荷機能強化の方策、消費者ニーズに合わせた集荷や販売方法等の検討を行う。</p>	<p>中央卸売市場</p>
---	--	---------------

3. 農業の公益的機能等の理解促進

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
体験交流事業及び学童農園への参加人数（生産流通課・農業の魅力促進課）	人	21,000	12,778	8,124				23,200
農業・農村の持つ多面的機能の認知度（農業の魅力促進課）	%	42.2	—	41.6				65

①農業・農産物の理解促進

<p>ふるさとくるめ農業まつりの開催 新型コロナウイルスの影響により、開催中止。</p>	<p>ふるさとくるめ農業まつりの開催 生産者と消費者の交流や、農業・農村の多面的機能や地産地消の取組について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進する。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
<p>体験交流促進対策事業 ●学童農園設置事業 幼少期より農業農村に理解を深めてもらうため、小学生を対象に田植えなど農作業体験や農業者との交流を行った。 ・実績：33校（44校中）</p>	<p>体験交流促進対策事業 幼少期より農業農村に理解を深めてもらうため、小学生を対象に田植えなど農作業体験や農業者との交流を図る。</p>	<p>生産流通課</p>
<p>中央卸売市場による情報発信 新型コロナウイルス感染予防の観点からイベント中止。 （市場まつり、見学会、魚の調理教室）</p>	<p>中央卸売市場による情報発信 市場の機能・役割等の理解促進のため、市民・消費者に向けて、市場まつり等を実施（時期未定）する。</p>	<p>中央卸売市場</p>

②多面的機能への理解促進

<p>小学生への情報発信 農業・農村が持つ多面的な役割を説明したチラシを市内の小学6年生全員に配布し、児童及びその保護者を対象に啓発を図った。 ・配付人数：2,785人 ・配付期間：R3.9.1～R3.9.8</p>	<p>小学生への情報発信 農業・農村が持つ多面的な役割を説明したチラシを市内の小学6年生全員に配布し、児童及びその保護者を対象に啓発を図る。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>
<p>イベントや公共施設等での情報発信 くるめ食育パネル展や環境交流プラザ、市立図書館等で農業の多面的機能の役割を示したパネルを展示し、理解促進を図った。 ・図書館展示：R3.6.22～7.21</p>	<p>イベントや公共施設等での情報発信 農業まつりや環境交流プラザ、市立図書館等で農業の多面的機能の役割を示したパネルを展示し、理解促進を図る。</p>	<p>農業の魅力促進課</p>

【R4年度施策の方向性】

【基本施策Ⅳ】 「農業都市・久留米」の理解促進（農業の魅力促進課・生産流通課・中央卸売市場）

多彩な農産物や自然、歴史、景観などの地域資源と農業が持つ様々な魅力を有する「農業都市・久留米」の認知度やブランド力の向上を図るため、農産物マルシェの開催や、都市圏でのトップセールスの実施に取り組むとともに、他部局と連携したPRを行う。また、道の駅くるめや中央卸売市場などにおいて、安全安心な久留米産農産物の情報発信を効果的に行うとともに、学童農園設置事業やふるさと農業まつり、市場まつりなど生産者と消費者との交流を行い、農業・農村の持つ公益的機能の市民理解を促進する。

また、久留米市世界つつじセンターや久留米つばき園等の名所を活用し、久留米つつじや久留米つばきをはじめとする緑花木のPRを工夫して行い、久留米産緑花木の魅力向上、ブランド力向上を推進する。

さらに、市内直売所等店頭での「久留米産」表示の強化や久留米産農産物へのキラリ久留米ロゴマーク導入支援により、久留米産農産物を購入・消費できる環境を整備するとともに、教育委員会や様々な団体と連携し、学校給食への久留米産農産物の導入促進や、地場農産物を使った料理講習会の開催などに取り組み、地産地消を推進する。

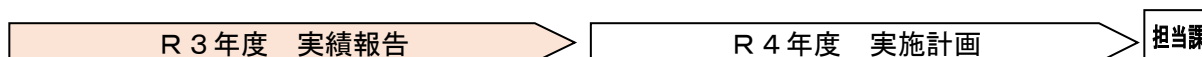
【基本施策Ⅴ】 多様な農業への挑戦

農産物の付加価値向上を目指した農業者による生産と加工・販売の一体化等に向けた取組を支援するとともに、多様な販売方法等に挑戦する農業者を支援します。

また、農家所得向上を目指し、豊かな自然や農業体験などの地域資源を活用した農村地域の活性化に取り組みます。

1. 農業経営の多角化

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
6次化商品の開発・改良・販路拡大を支援した件数 (農業の魅力促進課)	件	6	2	4				40 (累計)



①新たな商品の改良・開発支援

<p>6次産業化推進事業費補助金 農業者が久留米産農産物を活用した農産加工品（青パパイヤの業務用カット商品）開発に係る取組を支援した。 ・補助実績：1件（商品開発）、125千円</p>	<p>6次産業化推進事業費補助金 農業者及び農業団体等が久留米産農産物を活用した農産加工品の開発や加工商品の改良に係る取組について、支援を行う。 ・商品開発：補助率 1/2（上限 300 千円/件） ・商品改良：補助率 1/2（上限 300 千円/件）</p>	農業の魅力促進課
<p>【新規】6次産業化 Web セミナー 6次産業化に興味がある農業者、始めてみたい農業者を対象とした Web セミナーを開催した。 ・開催日：R3.9.10、参加者：10名</p>	<p>【新規】6次産業化コーディネート事業 農業者と県の6次産業化プランナー等と交えた定例相談会を開催し、6次産業化に取り組む新たな農業者の掘り起こしや商工業者とのマッチングを推進する。 ・定例相談会（R4.8月～）（予定）</p>	
<p>ビジネス交流会の開催 コロナ禍で健康志向が高まり、売上が好調に推移している機能性表示食品をテーマとする研修会（オンライン併用）を開催し、農産物と加工品（商品）に付加価値をつけ売上に繋げていくことを目指した。 ・開催日：R4.3.25、参加者：34名 (事業主体：久留米市農商工連携会議)</p>	<p>ビジネス交流会の開催 農林漁業者、商工業者を対象とした研修会や相談会等を開催し、新しい連携の掘り起こしを行う。 (事業主体：久留米市農商工連携会議)</p>	

②新たな販路拡大への支援

<p>6次産業化推進事業費補助金 農業者が久留米産農産物を活用した ①8割そばのPR資材やパッケージデザインの開発 ②バターナッツかぼちゃパウダーのパッケージ開発 ③いちごのギフト商品告知リーフレットを制作など販路拡大に伴う取組を支援した。 ・補助実績：3件、291千円</p>	<p>6次産業化推進事業費補助金 農業者及び農業団体等が久留米産農産物を活用した農産加工品の販路拡大に係る取組や販売内容の改良に係る取組について、支援を行う。 ・補助率：1/2（上限 300 千円/件）</p>	農業の魅力促進課
<p>商談会等出展支援事業 新型コロナウイルスの影響で、全国的に商談会等が開催されなかったため、実績なし。</p>	<p>商談会等出展支援事業 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援する。 ・補助率：1/2（上限 100 千円/件）</p>	農業の魅力促進課

③海外への販路拡大

農産物の輸出支援事業補助金 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への渡航が制限されたため、実績なし。	農産物の輸出支援事業補助金 農業団体等が行う農産物の輸出に対する取組を支援する。 ・団体：補助率 1/2（上限 400 千円/件） ・個人：補助率 1/2（上限 200 千円/件）	農業の魅力促進課
久留米市農産物の輸出支援事業補助金の周知チラシ 久留米市農産物の輸出支援事業補助金の周知チラシを作成し、市内 5JA の広報紙に折り込んだ。		
福岡県等と連携した農産物の販路開拓支援及び PR 県が行う海外量販店等での PR 活動にあわせて、久留米産農産物の販路開拓を支援予定であったが、輸出したい農産物について県と JA との意見の相違が生じたため、折り合いがつかず実績なし。		
	久留米産農産物の販路開拓支援及び PR 海外バイヤー等が参加する商談会に出展し、バイヤーとの商談を通じて久留米産農産物の海外への販路拡大を支援する。 （事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会）	

2. 農村地域の資源を活用した地域の活性化

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
くる農・泊まらん農の参加者数（農業の魅力促進課）	人	400	303	45				630

①農業の理解促進と地域活性化

農業体験等事業（くる農・泊まらん農） 新型コロナウイルス感染症の影響により、各農家の自主的な取組に対して、支援を行ったものの、参加者・宿泊者の受け入れが困難な状況になった。 【実績】 （くる農）0 人、（泊まらん農）45 人	農業体験等事業（くる農・泊まらん農） 農業体験や農家民泊等に独自に取り組む農家情報を発信し、都市と農村の交流による農業・農村の理解促進を図るとともに、「農業都市・久留米」の認知度向上を図る。	農業の魅力促進課
--	---	----------

②「道の駅くるめ」の周辺施設と連携した地域活性化

「道の駅くるめ」の機能強化 令和 3 年 11 月にイベント広場に大型屋根を整備し、くるめ緑花センター協同組合が開催するグリーンマルシェや、県立久留米筑水高校オリジナル駅弁大会などを指定管理者が主催団体と連携して実施し、地域活性化を図った。	「道の駅くるめ」の機能強化 大型屋根を整備したイベント広場を活用することにより、「道の駅くるめ」における農産物販売を充実していくとともに地域との連携を深め、地域情報の受発信機能を強化していくことで地域活性化を図る。	農業の魅力促進課
--	---	----------

R 3 年度 実績報告	R 4 年度 実施計画	担当課
<p>道の駅くるめ自動換気空調整備導入事業（コロナ） 新型コロナウイルス感染症の拡大リスクを低減するため、自動換気空調設備を導入するなど、安心して農産物を購入できる環境を整備した。</p> <p style="text-align: center;">前年度繰越事業</p>		農業の魅力促進課

【R 4 年度施策の方向性】

基本施策 V】 多様な農業への挑戦 （農業の魅力促進課）
<p>新たな商品の改良・開発支援及び新たな販路拡大への支援は、オンライン等、手法を工夫して久留米地域農商工連携ビジネス交流会を開催し、農林漁業者と商工業者との交流の機会や専門家による研修の場を提供することで、6次産業化や農商工連携等の農業経営の多角化に取り組む農林漁業者の掘り起こしを行う。事業を行うにあたっては、福岡県6次産業化プランナーなどの専門家によるアドバイスや指導等を行いながら支援する。</p> <p>また、海外への販路拡大は、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受け、農業者が海外へ渡航し、久留米産農産物を現地でPRすることは難しい状況ではあるが、海外バイヤーが参加する展示商談会に出展し、バイヤーとの商談を通じて久留米産農産物の国内外への販路拡大を目指すとともに、輸出に取り組む農業者の掘り起こしを図る。</p> <p>農村地域の資源を活用した地域の活性化については、大型屋根を設置した道の駅くるめのイベント広場を活用し、地域や団体と連携したイベントや情報発信を行うことで多くの誘客と地域への周遊を図っていく。</p> <p>さらに、農業体験等事業（くる農・泊まらん農）に独自に取り組む農家や地域の魅力を情報発信し、都市と農村の交流を通じた農業・農村の理解促進を図るとともに、地域活性化に繋げ、「農業都市 久留米」の認知度向上を図る。</p>